

国立大学法人香川大学諮問会議による
評価報告書

令和5年9月

国立大学法人香川大学



目 次

1. はじめに	1
2. 諮問会議委員名簿	2
3. 項目別評価	3
4. 配付資料	8
(令和5年7月19日開催第2回国立大学法人香川大学諮問会議配布資料)	
5. 関係規程等	146

1. はじめに

香川大学では、第4期中期目標・中期計画期間における業務運営の改善及び効率化に関する項目への対応として、令和4年4月1日付で設置した諮問会議を通じて、第4期中期目標・中期計画の中でも、特に、「自己点検・評価」、「社会との共創」、「リカレント教育」、「ダイバーシティの推進」、「財務運営」の5項目を対象に、外部の有識者からの意見を踏まえ、外部の知見を法人経営に生かすこととしております。

今回の諮問会議では、各委員の皆様には、当該5項目について、達成状況や成果はもとより、本学の近況や今後の取組等を内容とする「自己点検結果」をもとに、本学の強みとして伸ばしていくべきことや本学に今後期待すること等について、様々な観点から貴重なご意見をいただきました。心から厚くお礼を申し上げます。

諮問会議の委員の皆様から頂戴いたしましたご意見等は、今後の法人経営に反映させ、新たな価値と魅力を創造して、地域から世界に発信していけるよう、第4期中期目標の実現に努めます。

国立大学法人香川大学長

笥 善行

4) ダイバーシティ推進体制に関すること

優れている点	・特になし
改善を要する点	・「香川大学ダイバーシティ&インクルージョンに関する全学調査 vol.1 結果報告書」中「D&Iに関する教育や研修の受講経験」において、教育や研修を広く開講しているが、「受けたことがない」の回答率が高いため、もっと多くの教職員にも受講してもらえるように、努めていただきたい。
今後期待する点	・ダイバーシティを推進することがどういうことなのか、「D&Iの効果」について、引き続き、検討いただくとともに、多様性の重要性について、学生に伝えていっていただきたい。

・評価に対する対応について（改善を要する点、今後期待する点）
受講率向上のために、オンデマンド配信も活用して、受講者を増やすようにしている。
ガイドラインの作成及びガイドラインのリーフレットを作成して、学内に発信しており、
多様性の重要性を学生に発信している。